

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	パル三居沢
2	指定管理者	社会福祉法人 緑仙会
3	指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 3,587人 (前年度比 97.34%) ・平成28年度 3,685人 (前年度比 92.94%) ・平成27年度 3,965人 (前年度比 98.61%) <p>《事業》</p> <p>精神障害者が通所し、作業やレクリエーション等の必要な訓練・指導を受けることで、自活の促進を図る。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に支払った費用 33,451千円 (35,665千円) ・その他市が負担した費用 194千円 (100千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入 23,091千円 (23,083千円) <li style="padding-left: 20px;">【再掲：利用者負担額 0千円 (0千円)】 ・その他収入 千円 (千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>平成30年1月、指定管理者の協力のもと障害者支援課でアンケートを実施し、21人/22人(95.5%)の回答を得た。施設の利用に関し、満足又は大変満足が72.4%、普通が22.9%、不満が2.9%、大変不満が1.9%という回答であった。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>施設の設置目的に基づいた管理運営が適切になされている。</p> <p>平成22年度に新体系に移行して以降、就労継続支援B型事業のサービスの提供に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>前年度に引き続き、地域との交流促進や実習生の受け入れにも積極的に取り組んでいる。</p>	S
II 施設の運営管理体制	<p>必要数の職員が配置されており、職員間での情報共有も図られている。また、経理職員についても担当職員を定めることで、適切に書類を作成している。</p> <p>事故防止や災害発生時における対応について、安全対策委員会の設置、訓練の実施等のほか、三居沢地区防災会議に参加し、近隣施設や関係機関と災害時の協力体制を構築するなど、緊急時の体制がとられている。</p>	S
III 施設・設備の維持管理	<p>建設・設備の保全や備品管理については、委託仕様書に沿った適切な管理・取り扱いがなされている。また、施設内の清掃についても、定期的にしつかりと行われており、利用者が衛生的かつ快適に利用できる状態である。</p>	S
IV サービスの質の向上	<p>施設職員の資質の向上や意識啓発のための研修会の実施、定期会議による職員間での情報共有の取り組みを行っている。</p> <p>ホームページでの情報提供や施設のパンフレット作成など、適切な利用情報の提供に努めている。</p>	S
V 施設固有の基準	<p>地域との連携を図りつつ、自主製品の販売促進、工賃増額を目指した新規生産活動の獲得などの積極的な取り組みが見られる。</p> <p>個別支援計画については、利用者の状況に合わせて定期面接の機会を設けるなどして、きめ細やかな支援に努めた。</p>	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 緑仙会）による自己評価》
<p>障害福祉サービス事業所「パル三居沢」は、当法人の「中期経営計画(H29～H33)」に基づいて事業を実施した。具体的には、毎日通所することが困難な重度の障害者を積極的に受け入れるとともに、利用者一人ひとりが安心して通所し、自己の目標に向けて活動できるよう、個別支援計画の見直しを丁寧に行うことで、きめ細かい支援に努めた。また、支援に際しては、区保健福祉センターや相談支援事業所等関係機関との連携を深めることで支援の質を高めた。</p> <p>生産活動としては、事業所内で行う下請作業(医療用コルセットの組立・企業広告等の封入・割り箸の袋詰め・紙垂制作)のほか、事業所の外で行う清掃・除草作業に取り組み、特に、除草作業では、仙台市交通局、消防局からの新たな要請にも応えた。このほか、アクリルたわし、キャンドル等の自主製品の販売のほか、割り箸鉄砲や手芸品等の製作活動にも取り組んだ。結果として、平成29年度の平均工賃実績は約8,500円/月となり前年度の水準を維持したものの、目標としていた9,000円/月には及ばなかった。</p> <p>利用者の高齢化・重度化が進むなかで、利用者一人ひとりのニーズに応えるためには、より多くの作業種目と多様な作業工程を確保する必要があるという視点を大切にしながらサービスを提供するとともに、在籍者に対するきめ細かな生活支援を行うことで、利用率の向上に努めた。</p> <p>また、近隣小学校や地域でのイベントなど地域交流に積極的に参加したほか、各種教育機関と連携し、精神保健福祉援助実習、精神看護学実習等の実習生を意欲的に受け入れ、地域での福祉人材の育成にも協力した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って概ね適切・良好に行われていた。</p> <p>下請け作業、自主製品制作、清掃や除草作業といった多様な作業種目を提供しており、特に除草作業では、仙台市交通局、消防局からの新たな要請にも応えた。また、アクリルたわし、キャンドル等の自主製品の販売のほか、割り箸鉄砲や手芸品等の製作活動にも取り組むなど、工賃向上に向けた取り組みも評価できる。</p> <p>全体としては、研修の実施による職員の人材育成の取組みを積極的に行うことなどにより、就労継続支援B型事業所として良好なサービスの提供に繋げているため、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課